

## 解析 I 演習 (2 学期: ベクトル解析)

## - 第 1 回 ベクトルの演算・ベクトルの内積 -

担当: 佐藤 弘康<sup>1</sup>

◇ ベクトル空間  $\mathbf{R}^3$   $\mathbf{R}$  上の 3 次元数ベクトル空間  $\mathbf{R}^3$  の元を  $a, b, c, \dots$  とアルファベット小文字の太字で表す.  $a = (a_1, a_2, a_3)$  のとき,  $a_1$  を  $x$  成分,  $a_2$  を  $y$  成分,  $a_3$  を  $z$  成分と呼ぶ.

$\mathbf{R}^3$  内の点もベクトルと見ることができるが, 点であることを強調するときは  $A = (a_1, a_2, a_3)$  のようにアルファベット大文字で表す.

$A = (a_1, a_2, a_3)$ ,  $B = (b_1, b_2, b_3)$  に対し, 始点が  $A$  で終点が  $B$  のベクトルを  $\overrightarrow{AB}$  と書く. すなわち  $\overrightarrow{AB} = (b_1 - a_1, b_2 - a_2, b_3 - a_3)$ . 成分が同じであれば, 始点が異なっても同じベクトルと見なす.

◇ ベクトルの大きさ ベクトル  $a = (a_1, a_2, a_3)$  に対し,

$$\|a\| = \sqrt{(a_1)^2 + (a_2)^2 + (a_3)^2}$$

を  $a$  の大きさまたはノルムという.

◇ 内積 ベクトル  $a = (a_1, a_2, a_3)$ ,  $b = (b_1, b_2, b_3)$  に対し,

$$\langle a, b \rangle = a_1 b_1 + a_2 b_2 + a_3 b_3 \quad (\in \mathbf{R}) \quad (1.1)$$

によって内積  $\langle a, b \rangle$  を定める. これを  $\mathbf{R}^3$  の標準的内積と呼ぶ.  $a, b$  のなす角を  $\theta$  とすると

$$\langle a, b \rangle = \|a\| \|b\| \cos \theta \quad (1.2)$$

が成り立つ. (1.2) の右辺は  $a$  の大きさ  $\|a\|$  と  $b$  を  $a$  に正射影したベクトルの大きさ  $\|b\| \cos \theta$  の積と考えることができる. したがって, 直交する 2 つのベクトルの内積は 0 である. また, 標準内積を用いるとベクトルのノルムは

$$\|a\| = \sqrt{\langle a, a \rangle}$$

と表される.

<sup>1</sup>研究室: 自然系学系 D 棟 801, E-mail: hiroyasu@math.tsukuba.ac.jp

問題 1.1.  $\mathbf{a} = (4, 4, 2), \mathbf{b} = (-3, -1, 2), \mathbf{c} = (2, 1, 1)$  のとき、 $2\mathbf{a} + \mathbf{b} - 3\mathbf{c}$  に平行な長さ 1 のベクトルを求めよ .

問題 1.2.  $\mathbf{a} = (-4, -7, 4), \mathbf{b} = (1, -2, 5)$  とする . このとき ,  $\mathbf{a}$  の  $\mathbf{b}$  への正射影および  $\mathbf{b}$  の  $\mathbf{a}$  への正射影を求めよ .

問題 1.3. 未知数  $t$  を含むベクトルの組が次のように与えられてる . これをそれぞれ 1 次従属にする  $t$  を求めよ .

$$(1) \mathbf{a} = (2, 1, 2), \mathbf{b} = (3, -1, 6), \mathbf{c} = (t + 2, 2t + 3, 2t + 8).$$

$$(2) \mathbf{a} = (1 + t, -t, 1), \mathbf{b} = (2, -1, 1 + t), \mathbf{c} = (t, -1, -1).$$

問題 1.4. 1 次独立なベクトル  $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$  に対し ,

$$\mathbf{a} + k\mathbf{b}, \quad \mathbf{b} + k\mathbf{c}, \quad \mathbf{c} + k\mathbf{a}$$

が 1 次従属となるような  $k \in \mathbb{R}$  を求めよ .

問題 1.5.  $A = (a_1, a_2, a_3), B = (b_1, b_2, b_3), C = (c_1, c_2, c_3), D = (d_1, d_2, d_3)$  のとき , この 4 点が同一平面上にあるための必要十分条件は

$$\begin{vmatrix} a_1 & a_2 & a_3 & 1 \\ b_1 & b_2 & b_3 & 1 \\ c_1 & c_2 & c_3 & 1 \\ d_1 & d_2 & d_3 & 1 \end{vmatrix} = 0$$

であることを証明せよ .

問題 1.6.  $A, B$  を原点  $O$  以外の点とするととき , ベクトル

$$\frac{\overrightarrow{OA}}{\|\overrightarrow{OA}\|} + \frac{\overrightarrow{OB}}{\|\overrightarrow{OB}\|}$$

は角  $AOB$  を二等分することを示せ .

問題 1.7.  $A = (a_1, a_2, a_3), B = (b_1, b_2, b_3)$  に対して ,  $\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OB}$  を 2 辺にもつ平行四辺形の面積を求めよ .

問題 1.8. 4 点  $A, B, C, D$  に対し

$$\|\overrightarrow{AC}\|^2 + \|\overrightarrow{BD}\|^2 + \|\overrightarrow{AD}\|^2 + \|\overrightarrow{BC}\|^2 \geq \|\overrightarrow{AB}\|^2 + \|\overrightarrow{CD}\|^2$$

が成り立つことを示せ .